

当院における回復期リハビリテーション病棟の実績 (中部国際医療センター)

2026年7月1日現在

1.退棟患者数(1～6月)

- ① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数

122名
- ② ①のうちリハビリテーションを要する状態の患者数

95名

③	②状態患者の内訳	患者数
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態	57名
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	36名
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後の状態	1名
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0名
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名

2.実績指数(前月まで6ヶ月間) 各年度(4月、7月、10月、1月)に算出

- ④ 実績指数(⑥／⑦) 2026年4月

58.47点
- ⑤ 実績指数の対象とした患者

95名
- ⑥ ⑤の患者の退棟時FIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和

2408点
- ⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数で除した総和

41.19

実績指数の計算式

実績指数
(アウトカム)

=

各患者さまの(FIM得点[運動項目]の、退棟時と入棟時の差)の総和

各患者さまの

[

入棟から退棟までの在棟日数

状態ごとの回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数

]

の総和

令和8年度診療報酬改定における高次脳機能障害者への退院支援について

令和8年度診療報酬改定において、高次脳機能障害のある患者さんが退院後も適切な支援を継続して受けられるよう、地域の支援機関との連携および必要な情報提供体制の整備が求められています。当院では、回復期リハビリテーション病棟を退院される高次脳機能障害のある患者さんおよびご家族に対し、脳卒中相談窓口を設け対応させていただいております。退院後の生活や利用可能な支援制度、地域の支援機関との連携などについてご相談を承り、必要に応じて関係機関への情報提供や連携支援を行っております。

